

「次の仙台」をどう創るか—文化力、人材育成—



いげた・けんいち
1981年生まれ。仙台市青葉区大町出身。仙台二高から慶應義塾大学商学部卒業。(株)ダスキンを経て2007年、お茶の井ヶ田(株)に入社。2012年同社代表取締役役に就任。井ヶ田製茶(株)専務取締役。仙台商工会議所青年部政策提言委員長。趣味は「旅行」

お茶の井ヶ田(株)代表取締役 井ヶ田健一氏

ふつたんギャラリー 清月記 仏壇 墓石

〈セール開催期間〉
お徳な期間限定販売!

先取り 4店同時開催! 12/15~1/13 まで 初売

中央 太自 泉 石巻

1/2~1/13の営業時間
午前9:00~午後5:00

清月記だからできる! 「安心価格」

展示仏壇全品 30%OFF! 初売特価で 大特価!

展示墓石全品 40%OFF! 大特価!

清月記グループ 0800-888-5777
清月記 検索 詳細はこちらから

井ヶ田 売上げを上げるのは、そう簡単なことではありません。とにかく小さなことでもやってみる。この繰り返しです。

菅原 たしかにそうですね。

「安心して老後を迎えるため不安要素を解消したい」

井ヶ田 菅原さんは、青年会議所を含め、外に出て動いて多くの人脈を広げているのは凄いですね。ところで清月記は、葬祭業がメイン事

業ですが、今後の事業展開は、業です。力を入れていきます。例えば、万が一の時に家族に負担をかけずに済むような少額短期保険や、不動産の活用を含めた課題解決など、生活者が安心して老後を迎えるための不安要素を解消出来るかという点に力を入れています。清月記と付き合うと、元気になると思われる企業を目指しています。

「まずは行動すること。必ず未来に生かされる」

菅原 最後に、今後の展開と次世代へのメッセージをお願いします。

井ヶ田 2月に秋保ヴィレッジに第2工場を操業、一口ずんだ餅の種類を増やし、喜久福のOEM化、大町工場にずんだシェイクのレポートリーを増やすための充填機導入、今後は関東で勝負して、最終的には商業の甲子園、東京駅への出店を目指します。白石の道の駅に秋保ヴィ

レッジのような施設を作り、既存店舗のテコ入れも進めていきます。

今の若者は情報を簡単に収集できるためか、次の一步を踏み出せない方が多い。自分がやりたいことを見つけて行動すること。うまくいかなくても、自分の未来に生かされるということを伝えたいです。

菅原 ありがとうございます。今後も、ご活躍に期待しております。

秋保のムーブメントを創った「秋保ヴィレッジ」

菅原 お茶の井ヶ田(株)の歴史は創業104年の老舗ですね。

井ヶ田 私の曾祖父の周治が、104年前に創業した井ヶ田製茶が始まりです。狭山茶の主産地で知られる埼玉県入間市で生まれた周治は9人兄弟の長男で、製茶業の繁田園に就職しました。

周治は当時、同社の東京や秋田への進出にも携わっており、仙台に出先が無かったことと仙台の有望性を感じ、当初は繁田園の分店として大正9年(1920年)に独立して開業、狭山茶を販売して行きました。その後、井ヶ田茶舗に改組し、昭和43年(1968年)、井ヶ田製茶(株)に社名変更しました。昭和52年に販売会社として分社化したのがお茶の井ヶ田(株)です。



健一氏の妹、「いげたゆかり」さんが描いた「秋保ヴィレッジ」

菅原 秋保ヴィレッジがオープンして今年で10年。この間、秋保地区にはワイナリーやビザ、ジェラート店、クラフトビール工場などが開業しました。そして大勢の市民が訪れるようになりました。経済効果は大きいですね。

井ヶ田 多くの若い方が起業地として秋保を選んでいただくようになりました。24年に秋保ヴィレッジに150万人が来場予想で、農産物の仕入れは秋保、川崎町を中心に、県北、県南から農家300社が納品してくれています。

どの観光地がある中で、なぜ秋保だったのですか。

井ヶ田 大都市仙台に近く、平日の集客がしやすいからです。18年くらい前にこの土地を取得、計画していましたが、2011年の東日本大震災で、行政の目は、東側の被災地に向いていたため、市街化調整区域の解除ができませんでした。

菅原 秋保温泉が観光地として改めて注目されたムーブメントを作ったのが、御社が運営する秋保ヴィレッジではないかと思っています。

井ヶ田 お茶から波及させたお菓子などを販売、飲食もできる喜久水庵の1号店を平成8年(1996年)、南仙台に出した当時から、父が、観光地で本格的に物販や飲食などができる施設を考えていました。

菅原 松島、鳴子、蔵王、作並な

井ヶ田さんの戦略はとても参考になります。後継者として企業を引き継いでいく際の心構えなど



秋保ヴィレッジ「アグリエの森」で

仙台の次世代経営者 presence 対談



(株)清月記専務取締役 菅原 啓太氏

すがわら・けいた
1988年仙台市生まれ。中央大学経済学部卒業。(株)清月記専務取締役。2021年1月、公益社団法人仙台青年会議所第70代理事長就任。趣味は旅行。

連載 第18回

仙台、日本を拠点に、国内ばかりでなく、世界市場を見据えながら事業を展開している次代を担う若手経営者らに、活力ある仙台の経済活動や人材育成の在り方、そしてこれからの時代を生き抜くために必要な価値観や視点を、(株)清月記の菅原啓太専務が聞き出します。